

野外活動センター、売却へ！

9月議会
トピックス

■『伊丹市立 野外活動センター』とは？

『伊丹市立 野外活動センター』は、三田市に立地する自然に親しみながら手軽にアウトドアが楽しめる伊丹市運営の施設です。昭和の時代に整備され、小学4年生の転地学習・クラブ活動の合宿・企業の研修・一般のキャンプやバーベキューなどで幅広く活用されています。

■年間6000万円の赤字 → 民間に売却！

このように市民に活用されている当センター、実は年間6000万円の赤字を出しているのです。もちろん市として意義ある施設ゆえ所有しているわけで、不要な施設ではありません。しかし果たして市民の税金を年間6000万円投じてでも直営で運営すべき施設なのか？

そこで市が検討し、「民間に売却する」という案がこの9月議会に提案※されました。※正式には「伊丹市立野外活動センターの設置および管理に関する条例」の廃止 & 売却にかかる補正予算が上程

■議論① はたして売却がベストか？

まずは、課題解決において売却という方法がベストなのか、

他の方法はないのかを議論する必要があります。

議会質問「赤字ならまず運営努力(企業なら経営改善)すべきだが？」

市答弁「伊丹山荘を手放すなどしてきた。人件費もギリギリまで削減」

議会質問「指定管理に出す方法は？」

市答弁「指定管理でも市の支出が必要。この際、売却がベストと判断」



伊丹市立野外活動センター

※伊丹市HPより

■議論② 売却の内容は妥当か？

売却するということで一般公募し「NPO法人 ネイチャープラス」(自然体験活動に取り組む姫路市の団体)に決定したとのこと。譲渡価格50万円！

議会質問「資産価値は2億5000万円。譲渡価格50万円は安すぎないか？」

市答弁「市街化調整区域(勝手に開発できない地域)であったり、譲渡条件が厳しいことに起因しての

この金額提示かと想像。プロポーザル方式での選定により妥当と判断」

議会質問「小4の転地学習などは今後も使用できるのか？」

市答弁「譲渡条件として今後10年の、用途継続や転地学習の使用を課している」

⇒ 種々意見が交わされ、結果賛成多数でセンター売却を可決しました。

野外活動センターは、議論の末に売却へ。

今後このように、既存施設について老朽化によるハード問題が生じることを含め“税金をかけてでも継続するのか？”“廃止するのか？”“民間に任せるのか？”など検討し判断していかなければなりません。

“要らない施設は無い”と捉えています。税金にも限りがあります。ハードソフトともに長期的総合的な視野で考慮し、伊丹市としての的確適切な公共施設のあり方を、市民のみなさんとともに考えていきたいと思えます。

「マニフェスト大賞」優秀賞、いただきました！

「マニフェスト大賞」は、2006年に北川正恭・元三重県知事らにより創設された、地方自治体の首長・議員・市民による地域の創意に根差した政策本位の取り組みを表彰するコンテストです。

今年の「第11回マニフェスト大賞」にて、過去最多の2514件の応募の中から、優秀賞に選んでいただきました。

11月11日に東京都内で開かれる授賞式で、選ばれた35件の優秀賞の中から最優秀賞とグランプリが選ばれます。

※この活動報告ニュースを作成したのは10月なので結果はまだ。

受賞理由は下記のこと。(以下、マニフェスト大賞ホームページより)

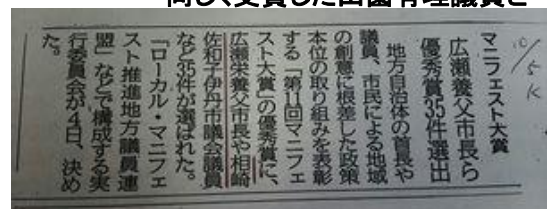
■ 相崎佐和子 マニフェスト賞(議会)優秀賞受賞 ■

1期目、2期目、3期目の政策すべてをホームページで掲載。進捗・実績は「通信簿～「お約束」は怎么样了?!～」と題し、◎、○、△、×でわかりやすく市民に公開している。市民とのコミュニケーションを図るため、ブログも毎日更新。

なお、同僚の山蘭議員も選ばれました。全国35件の中に伊丹市議会から2名が選ばれたのはありがたい限りです。



同じく受賞した山蘭有理議員と



神戸新聞 (10月5日朝刊)

議長だより

■ 県議会・市議会・町議会で話し合い！ ～兵庫県 地方議会協議会～

7月11日・8月16日の2日間、『地方議会協議会』が兵庫県庁で実施されました。これは、**兵庫県内の議会(県議会・市議会・町議会)で集まり、課題を議論する会**です。伊丹市議会は今年度、県の市議会議長の副会長なので代表で出席しました。

若者の地元定住・UIターン・子育て支援策などについて議論。各市町が抱える課題は異なりますが、協議の成果として、①**情報の交換と共有**(県内各市町の実情や課題について情報の交換や共有ができた)②**国への要望の明確化**(地域活性化に活かしやすい交付金等を国に要望することで意見が一致)③**県と市町の役割の明確化**(県は制度と経費の整備、市町はそれを活用して実働)。私からは伊丹市の状況を伝えると同時に「**県には、金・人材・制度整備をお願いします。市町は現場で活かすことを約束する**」と強く申し上げました。各地の状況が聞けるとともに、自市の状況を話したり要望事項を伝えたりできた、貴重な機会でした。



■ 伊丹市によろこそ！ ～姉妹都市ハッセルト市の来日～

7月22日、伊丹市の姉妹都市であるベルギーのハッセルト市から学生団が来日し、表敬訪問してくれました。8名の若者に来日理由を聞くと「文化と近代化が共生する日本に学びたかった」と。日本は歴史文化を保持しながら経済大国になった稀有な国、との印象だそう。また将来は数人が“ヨーロッパ発展に寄与する仕事をしたい”と。EU本部が首都ブリュッセルで、ベルギーは政治的地理的にヨーロッパの中心という自負があるのかも。



また7月24日には、**来日に合わせて『フランダースデー』が開催**されました。JR伊丹駅前にあるカリヨン(ベルギーの鐘)の演奏を聴きながら、ベルギーの食や酒を楽しむイベント。ベルギー大使までお越しになりました。これからも文化や教育の分野を中心に、友好都市との有意義な交流を深めていきたいものです。

■ 空港の要望を国へ！ ～全国民間空港所在都市議会協議会～

8月25日『全国民間空港所在都市議会協議会』の要望を国土交通省&総務省に届けに行きました。この会は全国の空港が所在する街の市議会が集まる会で、50都市が加盟しています。伊丹市議会は当会の会長(つまり私が全国会長で責任重大)。国交省には「財源」「空港整備」「安全確保」「空港周辺環境対策」「空港を活かしたまちづくり」「空港運用のあり方」を要望しました。“**空港所在地の声を反映させ取り組んでいく**”との回答。

空港の所在地が一丸となって声を上げることは、大きな意義があります。1つ1つの声は小さくても、まとまると大きな声になります。逆に要望活動をストップすると現状維持もしくは低下に。会長として責任を持って今後も各都市一丸となり現場の声を**上げ要望して**いきます。役割と意義を果たしてまいります。



第1回 フォーラム伊丹 議会報告会

相崎が属する会派「フォーラム伊丹」で「**第1回 フォーラム伊丹議会報告会**」を開催します。市政報告&意見交換を予定。

皆様のご参加を心からお待ちしております！

※メンバー：川上・泊・桜井・西村・保田・山藪・大津留・相崎

●日時：H28年11月23日(水・祝)10:00～11:30

●場所：いたみホール 6階 中ホール ●費用：無料

●内容：前半 報告(H27年度決算・市政のピックアップ) 後半 意見交換 ●申込：不要



第15回「サワコの茶話会」

気軽な雰囲気意見交換する「サワコの茶話会」。ぜひお越しいただき感じていることをお話しください！

●日時：平成28年12月4日(土) 14:00～16:00 、●人数：20名程度

●場所：いたみホール 3階 大会議室 ●内容：議長の仕事・市政の状況など

●申込：名前&連絡先を、メール・電話・ファックスでお知らせください(連絡先は裏面)

※飛び込みのご参加もOKですが、人数把握のため事前連絡いただけるとありがたいです

※託児はありませんがお子様連れ大歓迎です！

